

第107回経営協議会議事録

日 時 平成31年3月20日（水）10時00分～12時10分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)

岩波委員、白井委員、高村委員、竹岡委員、長友委員、野々村委員、森口委員

(学内委員)

福田学長、中野理事、田中理事、木野理事、川中理事、田野情報理工学研究科長

(オブザーバー)

由良副学長、渡邊副学長、松山監事、名取監事、酒井内部監査室長

第106回経営協議会議事録報告承認

議 題

□審議事項

1. 平成31年度計画（案）について (資料①-1～2)
2. 人事活性化大綱及び平成31年度人事計画策定指針について (資料②-1～3)
3. 2019年度学内予算案について (資料③)
4. 共同研究にかかる経費計上のあり方について (資料④-1～4)

□報告事項

1. 2019年度経営協議会開催日程について (資料⑤)
2. 電気通信大学（UEC）基金について (資料⑥)

議 題

審議事項1 平成31年度計画（案）について

田中理事から、平成31年度計画について、全学に意見照会を行い、寄せられた意見を基に修正等を行った旨説明があり、これを了承した。

出された意見は次のとおり。

(学外委員) 定年で退職される方の補充を学長裁量枠ですということは、従来研究室にいた人がいなくなったときに補充されない場合も当然あるということでしょうか。

(学内委員) 個々の定年で退職されたポスト、その先生が占めていた研究分野や教育分野を大学全体で考えようという思想がベースにあり、どこの分野を強化すべきかという事柄を、部局と一緒に考えて当てはめようという、そういう立場を強調するための学長裁量枠という位置づけです。

(学外委員) 3点教えていただきたい。1点目は女性管理職の現状です。2点目は金融機関の選定等の効果的な資金運用について具体的にどう考えているのか。3点目は大規模災害に備えた安全管理体制についてです。

- (学内委員) 管理職における女性の割合が中期計画の際に設定した10%を超えている。資金運用管理に関して、多摩地区の複数の大学で合同して資金運用をするという取り組みを今進めている。安全管理体制については、体育館が避難施設として担えるように数年前にできあがったという状況です。
- (学外委員) 危機管理について、事故等があった際にマスコミ対応等は非常に重要だが、そうした事態に備えて、保護者対応、記者会見等の模擬訓練を行っておくことも重要であると思う。
- (学外委員) 激甚災害が起こった際に、大学キャンパスには多くの帰宅困難者がなだれ込んでくることが予想される。大学の第一義の存在意義でないことはもとよりなことだが、備えは必要と思われる。是非、情報交換させていただきたい。

審議事項2 人事活性化大綱及び平成31年度人事計画策定指針について
福田学長から、人事活性化大綱及び平成31年度人事計画策定指針について説明があり、これを了承した。

審議事項3 2019年度学内予算案について
川中理事から、2019年度学内予算案について説明があり、これを了承した。

審議事項4 共同研究にかかる経費計上のあり方について
中野理事から、共同研究にかかる経費計上のあり方について、直接経費に計上すべき事項と間接経費比率を見直し、関連規程及び間接経費活用方針案の改正を行いたい旨説明があり、これを了承した。

出された意見は次のとおり。

- (学外委員) 共同研究の相手先に請求すべき経費で、教授の単価が6,000円というのは能力に対してあまりに低すぎるのではないか。
信頼性という意味でいえば、6,000円程度の仕事しかしないと宣言している様にも見えてしまう。

報告事項1 2019年度経営協議会開催日程について
福田学長から、2019年度経営協議会開催日程について報告があった。

報告事項2 電気通信大学(UEC)基金について
木野理事から、平成31年3月18日現在の寄附状況について報告があった。

(閉会12時10分)

[配付資料]

- ①-1. 平成31年度国立大学法人電気通信大学年度計画(案)
- ①-2. 年度計画(平成31年度)素案
- ②-1. 電気通信大学人事活性化大綱(案)

- ②-2. 平成31年度教員系人事計画策定指針（案）
- ②-3. 平成31年度事務系人事計画策定指針（案）
- ③. 2019年度電気通信大学学内当初予算（案）
- ④-1. 共同研究にかかる間接経費計上のあり方について
- ④-2. 直接経費における教員人件費相当額の考え方について
- ④-3. 外部資金獲得貢献手当の新設（案）
- ④-4. 間接経費活用方針（案）
- ⑤. 2019年度経営協議会開催日程について
- ⑥. 電気通信大学（UEC）基金の状況